

農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

小型家畜放牧による耕作放棄地の再生や、老人クラブによる共同菜園での簡易防護柵の実証及び運営管理等、多方面での獣害対策を集落ぐるみで取り組むことで、農作物被害が減少するとともに集落住民の営農意欲も向上。

こうかししがらきちょうみやじりしゅうらく

甲賀市信楽町宮尻集落

せきたに たけじ
（農業組合代表：関谷 武治）

主な取組

こうかし
滋賀県甲賀市

- 集落役員が中心となり、侵入防止柵の設置を進めつつ、「侵入防止柵だけに頼らない対策」について集落合意のもと、集落環境診断により「被害防止対策実施計画」を策定し、耕作放棄地や荒廃茶園の解消、特産物の栽培及び集落主体での捕獲活動など、様々な対策を実施している。
- 耕作放棄地での小型家畜（ヒツジ・山羊）の放牧による草の管理により、ほ場環境が改善されイノシシの侵入が減少した他、小型家畜の放牧を介して集落の「交流の場」ができた。また、適切なサル侵入防止対策が実施されていなかった家庭菜園を一箇所の共同菜園に集約し、集落の老人クラブが運営管理や簡易防護柵の実証を行った結果、サルの侵入が無くなり、集落住民の営農意欲向上にも繋がった。
- サルの追い払いについては、講習会の開催及び市が情報発信するサル接近情報の活用や、集落独自のテレメトリー調査によるサル群の位置情報の共有化により、効果的な追い払いを実践した結果、サルによる農作物被害がほぼなくなった。

【被害金額（宮尻集落）】

約130万円（平成23年度（活動開始前））→約70万円（令和2年度）